

平成17年度 第4回 国立大学法人鹿屋体育大学経営協議会議事要旨
 ー 書面会議（持ち回り会議） ー

1 日時・場所等

(1) 学外委員

日時	時間	委員	場所	応対者
3月17日(金)	10:45 ~ 11:45	加賀谷 委員	日本女子体育大学	高橋理事、富岡事務局長
	15:00 ~ 15:40	西田 委員	日本プレスセンター 9F 日本記者クラブ談話室	富岡事務局長
3月20日(月)	10:30 ~ 11:40	岡崎 委員	日本体育協会	高橋理事、富岡事務局長
	13:00 ~ 13:30	上治 委員	ミズノ本社ビル	高橋理事、富岡事務局長
3月22日(水)	13:20 ~ 13:40	脇田 委員	鹿児島県庁	高橋理事、富岡事務局長

(2) 学内委員

日時	時間	出席者
3月24日(金)	14:00 ~ 15:20	芝山、高橋、倉田、萬田、富岡

※中野及び前原の各監事、國分、田口の各学長補佐が列席

2 議 事

(1) 諮問事項

理事の任命について

配付資料に基づき、各委員に意見を聴き、原案のとおり了承された。

(2) 審議事項

- 1 国立大学法人鹿屋体育大学中期目標・中期計画の変更について
- 2 平成18年度国立大学法人鹿屋体育大学年度計画について
- 3 平成18年度国立大学法人鹿屋体育大学予算案について
- 4 平成18年度の給与改定等に係る規則の一部改正について
- 5 国立大学法人鹿屋体育大学旅費規則等の一部改正について

配付資料に基づき、上記審議事項に関して説明が行われ、原案のとおり了承された。

(3) 報告事項

その他

配付資料に基づき、報告が行われた。

(4) その他

学外委員より以下のような意見が述べられた。

- 一般選抜試験における志願者の減について、その原因の分析調査を行ってみてはどうか。
- オリンピック開催に結びつけた、体育大学としての経営戦略を展開していくことも重要である。

また、スポーツを続ける上で、必然的にある程度の経費が必要となってくる。例えば、日本学生支援機構には学生を対象とした懸賞論文がある。その論文の分野にはスポーツもある。学生への経済的な支援という面からも、鹿屋体育大学の学生も積極的に応募するよう、大学として情報収集を行い、学生に応募を働きかけるようにすべき。

- 鹿屋体育大学のトップアスリートについては、大学の危機管理の観点からも広報体制（マスコミ対応）を整備すべき。
- NIFS スポーツクラブと鹿屋市との役割分担が今後の重要な課題となる。
- 資料を分かりやすく、かつ、簡潔なものを要点としてまとめて提示すべき。